

	内容	御意見等(要旨)	担当課	対応方針
1	議事録について	当日は、県校長会のため、出勤できませんでしたが、議事録により実施的で有意義な会議であったことがよくわかった。	企画経営課	今後の参考にさせていただきます。
2	平成29年度以降の事業について	今後の政策の理解を得るために、SNSの活用が大切だと思う。	企画経営課	今後の参考にさせていただきます。
3	その他	今年度より、本校(並木中等教育学校)のSSH(スーパーサイエンスハイスクール)の取組についてつくば市と協力して進めることになっており、本校生の意見なども政策に活かしていただきたい。	企画経営課	学生の視点による意見や提案等をいただき、新規施策の立案等に反映していきたいと考えております。
4	指標について	①-7(つくバス利用者数) 交通網の作成に対して、特に北部、南部などの循環まわりのコースをしっかりと考えて、どこでも便利に利用できる工夫をしていただきたい。(バスの大きさなども工夫) ③-3(つくば市中心部からバスでアクセス可能な地域)でも大いに利用すべきでありたい。	総合交通政策課	平成29年度は、つくバス・つくタクを中心に交通体系の改編に向けて検討を進めているため、検討段階において御意見として参考にさせていただきます。
5	指標について	②-17(児童生徒の9年間の学びの連続性を保障し、自己肯定感を持つ児童生徒の割合) 教育長の一貫教育に対しての発言によって初めてマイナスの方へ向かい、特に北部においては一貫校の開校の変更は住民の心に意欲をなくしている。十分検討を。	教育指導課	(仮称)秀峰筑波学園の平成30年4月開校に向け今年度十分な準備を行い、今後も学びの連続性のもと児童生徒一人一人の学びが向上し、自らの資質向上が実感できる教育を実施します。
6	指標について	③-1(筑波山入込数) 筑波山の開発、文化財の活用・人を呼び込む行事の検討などもっと積極的に話し合いを進めていかなければ、ますます低迷化へと流れる。	観光推進課	筑波山及び周辺で実施されているイベント等の情報を積極的に収集し、HPやSNS、キャンペーン等を活用し、積極的に発信してまいります。
7	会議の進め方について	会議は2時間以内と制限されている中で効率的且つ効果的に進行するためには 以前にも指摘したが、 (Ⅰ)つくば市の特性・・・チーム(Ⅱ)結婚し、子供を・・・チーム(Ⅲ)交流、居住環境・・・チーム(Ⅳ)公共交通網・・・チームの内、少なくとも2チームに分けて会議をすべきでこのままでは意見が偏り、会議を開催しただけの結果になりかねない。 (案)(Ⅰ)、(Ⅳ)チーム及び(Ⅱ)、(Ⅲ)チーム	企画経営課	御多忙な有識者の方々に御参集いただいていることから、幅広い御意見をお聞きするため、御指摘のように聴取方法の工夫が必要であるとと考えております。御参加いただいた方はもちろん、参加できなかった方からも御意見を頂戴するため、会議終了後の意見聴取とそれに対する担当課からの回答などの方法等も含め、状況に応じて検討させていただきます。
8	総合戦略の評価・検証について	しっかりとしたCOORDINATORを配置して、つくば市の人口ビジョンである2036年⇒25万9千人将来的⇒23万人程度の人口を確保するために、今何をなすべきなのかを常に頭に描きながら横断的且つ柔軟に各部門の戦術が正しく計画、実施されているかを指導していただきたい。 現状は各部門から出てきたことを単に集計しているように見える。	企画経営課	平成29年度も総合戦略の評価・検証を行うため、いただいた御指摘を受けてPDCAサイクルを確実に実施してまいります。